

目 次

電力通信用電源システムの 信頼度評価とシステム設計	通信用電源システム 信頼度評価専門委員会
委員会組織	(1)
第1章 概 説	(5)
1－1 研究の必要性	(5)
1－2 報告書の概要	(5)
第2章 通信用電源システムの現状と問題点	(11)
2－1 調査内容	(11)
2-1-1 調査対象設備	(11)
2-1-2 調査項目	(18)
2－2 調査結果	(20)
2-2-1 施設状況	(20)
2-2-2 故障実態	(20)
2-2-3 スイッチング方式電源装置	(20)
2-2-4 陰極吸収式蓄電池	(42)
2-2-5 太陽電池方式	(51)
第3章 新方式電源装置の特徴と電力通信用対策	(56)
3－1 スイッチング方式電源装置	(56)
3-1-1 整流器の特徴と回路方式	(56)
3-1-2 インバータの特徴と回路方式	(65)
3-1-3 UPS の特徴と回路方式	(71)
3-1-4 変換デバイス	(77)
3-1-5 EMI 対策	(80)
3-1-6 高調波電流対策	(83)
3-1-7 耐雷・耐サージ対策	(89)
3-1-8 温度対策	(91)
3-1-9 耐震対策	(91)
3-1-10 保 守	(92)
3-1-11 寿 命	(96)
3-1-12 その他	(98)
3－2 陰極吸収式蓄電池	(102)
3-2-1 比 較	(102)
3-2-2 構 造	(104)
3-2-3 電気的特性	(106)
3-2-4 寿命と劣化プロセス	(107)
3-2-5 劣化診断	(110)

3-2-6	使用環境	(112)
3-2-7	耐震対策	(113)
3-2-8	保 守	(114)
3-2-9	安全性	(121)
3-2-10	その他	(123)
3 - 3	太陽電池方式	(124)
3-3-1	太陽電池の種類と特性	(124)
3-3-2	太陽電池方式電源システム	(127)

第4章 通信用電源システムの信頼度評価 (131)

4 - 1	信頼度評価法	(131)
4 - 2	目標信頼度	(132)
4 - 3	信頼度評価	(132)
4-3-1	各装置の信頼度評価	(132)
4-3-2	電源システムの信頼度評価	(133)
4-3-3	各種システムの信頼度	(146)

第5章 通信用電源システムの設計手法 (147)

5 - 1	通信用電源システムの適用と導入に当たっての留意点	(147)
5-1-1	基本的な考え方	(147)
5-1-2	電源システム設計の手順と概要	(147)
5 - 2	基礎資料収集および設計条件の明確化	(149)
5 - 3	電源室と受電盤、通信機械室との接続	(152)
5-3-1	事業所の受電方式	(152)
5-3-2	事業所内の受電主配線盤からの分岐	(152)
5-3-3	通信用電源の他部門との共用	(152)
5-3-4	通信機械室との接続	(152)
5 - 4	通信用電源システムの選定	(152)
5-4-1	通信用電源システム構成モデル	(152)
5-4-2	給電方式	(157)
5-4-3	電源装置の選定	(158)
5 - 5	電源装置の電気的環境条件	(160)
5-5-1	電源装置の電気的環境条件に対する適合標準規格	(160)
5-5-2	高調波電流対策	(162)
5-5-3	EMI 対策	(163)
5 - 6	機器容量の算出	(163)
5-6-1	整流器容量の算出	(163)
5-6-2	インバータ、UPS 容量の算出	(164)
5-6-3	蓄電池容量の算出	(166)
5-6-4	EG 容量の算出方法	(171)
5 - 7	電源室の設計	(182)
5-7-1	総 論	(182)
5-7-2	整流器、インバータ、UPS 室の留意点	(183)
5-7-3	蓄電池室の留意点	(184)
5-7-4	EG 室の留意点	(188)

5-7-5 電源機器の耐震対策.....	(189)
5-8 耐雷・耐サージ対策.....	(190)
5-8-1 耐雷・耐サージ対策について.....	(190)
5-8-2 耐雷・耐サージ対策のまとめ.....	(195)
5-9 機器相互間の協調.....	(195)
5-9-1 入出力条件の整合.....	(196)
5-9-2 ケーブルと MCCB の協調	(196)
5-9-3 直流方式の保護協調.....	(202)
5-9-4 交流方式の保護協調.....	(207)
第6章 今後の課題と将来技術.....	(211)
6-1 今後の課題.....	(211)
6-1-1 新方式電源装置.....	(211)
6-1-2 システム設計要領の確立および統一と装置仕様の統一.....	(217)
6-1-3 海外製品の導入.....	(217)
6-1-4 保守・運用上の課題.....	(217)
6-2 将来技術.....	(218)
6-2-1 独立形電源方式.....	(218)
6-2-2 その他.....	(221)
付録1 故障事例.....	(224)
2 新形蓄電池の FMEA(故障分析)の例	(229)
3 耐震対策.....	(231)
4 高調波抑制対策ガイドライン.....	(234)
5 高調波電流計算例.....	(238)
6 メーカ推奨の巡視・点検例.....	(245)
7 海外製の陰極吸収式蓄電池例.....	(246)
8 太陽電池方式電源システムの設計例.....	(247)
9 装置故障率と部品故障率.....	(249)
10 N+m 方式整流器の信頼度.....	(252)
11 パラメータ標準値の算出根拠.....	(253)
12 システム不稼働率計算式.....	(256)
13 前回パラメータでの計算結果と前回システム計算結果との比較.....	(260)
14 新旧電源方式の経済性比較の例.....	(261)
15 蓄電池使用個数の検討.....	(264)
16 所定外の許容最低電圧における蓄電池容量換算時間(K)の算出法.....	(266)
17 EG 容量の算出例	(267)
18 直流方式の保護協調計算例.....	(271)
19 交流方式の保護協調計算例.....	(273)
20 しゃ断方式.....	(276)
21 アンカーボルトの選定法.....	(277)